

# 令和3年度信州型CSアドバイザー派遣 実施要項

文化財・生涯学習課

## 1 趣 旨

信州型コミュニティスクール（以下、信州型CSという。）及び学校と地域との連携・協働する取組推進にかかわってきたコーディネーターや教員、市町村教育委員会職員等を信州型CSアドバイザーに依頼し、学校と地域との連携・協働を進める学校や研修会等へ派遣し、経験を生かした適切なアドバイス等の支援により、取組内容のなお一層の充実を図る。

## 2 事業内容

### （1）派遣による支援の概要 ※指導主事が必ず帯同する

#### ① 支援内容：

- ・信州型CS運営委員会や国のコミュニティ・スクール（以下、国CSという。）学校運営協議会の効果的な活用の仕方について
- ・国CS（学校運営協議会制度）導入に向けた市町村教育委員会、学校に必要な準備について
- ・学校と地域が連携・協働するための仕組みや取組について
- ・コーディネーター、ボランティアの発掘・養成について
- ・ボランティアのネットワーク化に関する工夫について
- ・地域と共にある学校づくりに係る校内研修の在り方について

#### ② 派遣先：市町村教育委員会、学校、学校との協働・連携を希望する民間団体等

#### ③ 形 態： 講演、懇談（要望による）

例 校内職員研修会、運営委員会研修会、学校運営協議会研修会、信州型CS説明会、学校・市町村ボランティア研修会 等各種研修会・打ち合わせ会

#### ④ 時 間： 1～2時間（要望による）

### （2）信州型CSアドバイザー

市町村教育委員会や学校等において、信州型CSの取組充実、国CSの設置、ボランティアの組織化、コーディネーターやボランティアの養成等、学社連携・協働の促進等に先駆的に取り組んでいるコーディネーターやボランティア、教育委員会職員等。

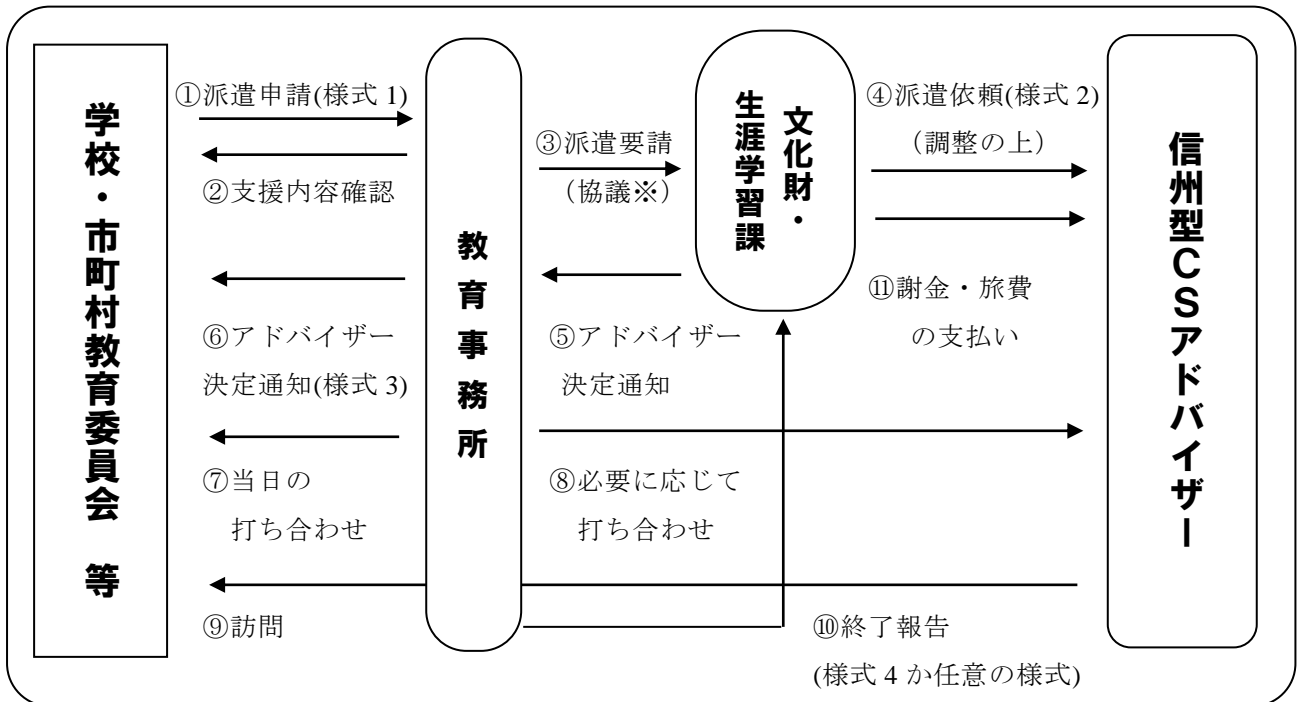
#### A レギュラーアドバイザー（別紙名簿参照）

長野県教育委員会が「信州型CSアドバイザー」として年度当初に依頼する。

#### B スペシャルアドバイザー

学校現場等の個別の要請に応じるために、文化財・生涯学習課と教育事務所の協議によって適当と認める実践者を「信州型CSアドバイザー」として年度途中に依頼する。

(3) 信州型CSアドバイザー派遣の流れ



- ① 派遣を希望する市町村教育委員会や学校等は、おおむね2ヶ月前までに、所管の教育事務所生涯学習課へ「様式1」と要項を教育事務所に提出し、派遣申請を行う。（書類とデータ両方を提出）
- ② 教育事務所は、申請した学校等と、詳しい支援要望等を確認する。
- ③ 教育事務所は、文化財・生涯学習課へ派遣を要請する。その際①で提出された様式1と要項の書類とデータを提出する。
- ④⑤ 文化財・生涯学習課は、支援内容を勘案し、調整の上、派遣するレギュラーアドバイザーを決定し、本人への派遣申請（「様式2」）を行う。また、教育事務所に対してアドバイザーの決定を連絡する。  
 ※ 学校等が要望する支援内容によっては、教育事務所と文化財・生涯学習課の協議により、スペシャルアドバイザーの派遣を決定する場合もある。この場合、様式1の「信州型CSスペシャルアドバイザー」を選択する。
- ⑥ 教育事務所は、学校等へアドバイザーの決定を通知する。（「様式3」）
- ⑦⑧ 教育事務所は、学校等と当日の日程等について打合せ、アドバイザーへも伝える。（おおむね1ヶ月前）
- ⑨ 当日訪問（アドバイザー及び指導主事）  
 指導主事は事前に文化財・生涯学習課より送付された「旅行依頼票」を持参し、アドバイザーより印をもらう。
- ⑩ 教育事務所等派遣依頼者は、「様式4」または、任意の様式による報告書を文化財・生涯学習課へ提出する。その際、⑨の「旅行依頼票」を添付する。
- ⑪ 文化財・生涯学習課は、アドバイザーへ謝金及び旅費を支払う。

#### (4) アドバイザー、教育事務所、文化財・生涯学習課の役割

##### ①信州型CSアドバイザーの役割

- 申請のあった学校等や研修会等へ訪問し、要望や課題に合わせて自らの実践に基づき地域と学校が連携・協働する取組を促進するためのアドバイス（講演・懇談）を行う。

##### ②教育事務所の役割

- 学校等の申請を受けて、文化財・生涯学習課へ派遣の要請をする。
- 文化財・生涯学習課の連絡を受け、申請のあった学校等へ、アドバイザーの派遣決定を通知する。（「様式3」）
- 支援内容（課題・ニーズ）及び研修当日の日程について、学校等とアドバイザー間の連絡調整を行う。
- アドバイザーに同行し、要請に応じて信州型CSや国CSの概要等について説明する。
- 訪問終了後、文化財・生涯学習課へ報告する。（「様式4」または別紙による）

##### ③文化財・生涯学習課の役割

- 教育事務所の要請を受けて、支援内容等をふまえて、アドバイザーを決定し、アドバイザーへ派遣申請を行う。（「様式2」）
- 研修実施後、アドバイザーへ謝金・旅費を支給する。
- アドバイザーを集め、信州型CSや国CSについての基本的な理解の統一を図る。  
（アドバイザー連絡会 年2回）

#### (5) 信州型CSアドバイザー連絡会(信州型コミュニティスクール促進進委員会)の開催

対象：レギュラーアドバイザー

##### ①第1回 7月

- 信州型CSアドバイザーの目的と役割の確認
- 信州型CS促進についての共通理解、県内の状況確認

##### ②第2回 10月

- 信州型CSの状況及び課題把握
- 次年度の事業構想の検討

#### 3 令和3年度予算額 564千円

- ① アドバイザー謝金・旅費 30カ所
- ② 信州型CSアドバイザー連絡会(信州型CS促進委員会)謝金・旅費 2回